

児童発達支援・放課後等デイサービスに おける5領域支援プログラム



令和6年度報酬改定において、「児童発達支援」「放課後等デイサービス」での支援で、「5領域」全て含めた総合的な支援を提供することが運営基準に明記されました

会社名：株式会社サポートプラスみどり町
事業所名：サポートキッズうけんいえ
作成日：令和7年2月1日

事業所情報

営業日

月曜日から土曜日

休業日

日曜日・第三土曜日・こどもの日・ウークイ
年末年始12月31日～1月3日

営業時間

平日 9:30～18:30

土・祝・長期休み 8:30～17:30

提供時間

平日 10:00～17:30 学校終了～17:30

土・祝・長期休み 9:30～16:45

送迎の有無

あり

理念

一人の”ひと”として幸せな人生を送るために

支援方針

- 1, 個性を理解し、夢や目標を尊重し、その可能性を引き出せるよう支援します。
- 2, 常に寄り添うことで、児童に「今」必要なものは何か？と考えながら支援します。
- 3, チームワークを大切に、最高な環境でサービスを提供できるように支援します。
- 4, ご家庭の児童に対する思いを汲み取り、一人の“ひと”として大切に支援します。

支援プロセス

Step 0：初回・アセスメント
保護者から子供の状態・状況を聞きとり子供の課題を領域ごとに分析、現状の把握をします。



Step 1：個別支援計画の作成

子どもと環境を考慮し、サービス提供の目標と計画を領域ごとに課題を分析し個別の計画を立てます。

Step 2：サービスの提供

個別支援計画に基づき子供たちが楽しみながら課題に取り組める環境をつくります。

Step 4：個別支援計画の見直し

モニタリングを基にサービス提供の計画を見直します。子どもたちが楽しみながら通い続ける工夫をし、一つでも多くの「できた」を増やすことが重要です。

Step 3：モニタリング

スタッフ間で療育の進捗を確認し、常に子供の発達を把握します。行動を基準に達成、継続、終了を判断します。

支援内容

お子さまにとって「支援」を行う環境を大まかに分けると図のように「**発達支援（本人支援・移行支援）**」「**家族支援**」「**地域支援**」からなり、個々のニーズに対して、支援ごとの「ねらい（目的や目標）」を達成するために、必要な「支援内容」を具体的に提供していきながら総合的に支援を行います。この支援そのものをお子さまが将来日常生活や社会生活（参加）を円滑に営めるようにすることが最終目標となります。



本人支援『5領域』

人間性・社会性

対人関係スキルと社会ルールの習得、社会参加と自立生活の促進などを目指します。

言語 コミュニケーション

言語理解・表現力の向上、他者との意思疎通能力の発達を目指します。

健康・生活

こどもたちの健康的な生活習慣の確立と、日常生活スキルの向上を目指します。



運動・感覚

身体機能の向上と感覚の統合、身体的発達と環境適応能力の向上を目指します。

認知・行動

思考力・判断力の育成と行動調整、学習能力の向上と適切な行動の獲得のための支援を提供します。

本人支援

5領域	支援内容
健康・生活	園での集団活動、家庭での生活リズムが安定し、就学に向けて身辺自立ができるようになるための支援 ・睡眠→園や家庭での安定した生活を中心に、職員との信頼関係を育み、情緒面・運動面でのバランスの良い活動で支援する。 ・食事→食事用具の使い方を身に付け、食への興味を促し、皆で食べることの楽しさを知る。 ・排泄→それぞれの児のトイレトレーニングの段階に応じて支援する。 ・身辺自立→衣服の着脱や手洗い等の基本的な技能の取得、自分の持ち物を意識する支援をする。
運動・感覚	様々な感覚を経験して特性に合わせた環境設定や体の使い方を覚えていくための支援 ・姿勢保持→児に合った高さの調節を行う中で、正しい姿勢を学び、自身の姿勢を意識する声掛けをする。 ・粗大運動→サークルやリズム遊び、ヨガ、感覚統合、散歩等を通して体の使い方を経験し学ぶ。 ・微細運動→正しい用具の使い方を知ると共にお絵かき、指先を使った活動、遊び等を通して細かな動きの習得を支援する。 ・感覚→粘土やスライム等の感触遊びを通して物質の変化と感覚の認知形成を行い、リズム遊びや体操を通して様々な感覚を経験するよう支援する。
認知・行動	自分の周囲の環境に興味・関心を広げ、必要な知識や概念を習得し、集団生活に適応するための支援 ・職員やお友達との関わる楽しさを体験する。 ・構造化された分かりやすい環境で過ごす中で、一人ひとりの認知の特性を観察しながら約束を通じて集団活動に適した行動を身に付ける支援をする。 ・プログラムを通して物の名前、色、大小、学習の基本となる数やことばの理解を深めるための支援。 ・ごっこ遊びや季節の行事に向けた製作等で、目標に向かって段階的に準備をして楽しむプログラムを設定する。 ・知覚から行動への認知過程の発達環境から情報を取得選択し行動につなげる認知過程の発達を支援する。
言語 コミュニケーション	適切な要求や表現方法を習得するための支援 ・一人ひとりに合わせた目線でわかりやすく伝える。 ・職員やお友達との会話の中でコミュニケーションの楽しさを感じることができるよう支援する。 ・ことばだけではなく、ジェスチャー等を用いて伝える練習をする。 ・不適切な行動を見極め、適切な表現でやり取りできるよう支援する。
人間関係・社会性	身近な大人との基本的な信頼関係を育み、周りの子にも関心を持って関わりを深めるための支援 ・職員との信頼関係を築き、安心して過ごせるよう支援する。 ・遊びを通して他児に目を向け、関わる機会を持てるよう支援する。 ・ルールのある遊びで相手を意識できる活動を取り入れる。 ・SSTを通じて、社会生活に必要な適切な行動を身に付けるよう支援する。

5領域における具体的な内容はお子さま一人ひとり成長や発達において異なります。得意や不得意があつて当たり前です。得意を伸ばし、不得意をカバーできるよう、5領域一つひとつの項目を一步ずつ成功体験をもとに伸ばしていきます。どの領域においてもご家族さまのご協力のもと、お子さまにとって最善の方法で支援していきます。



児童発達支援

移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行を想定した専門職による評価。 具体的な移行先との調整。 家族への情報提供や移行先での環境調整。 移行先との支援方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達。 子供の情報、保護者の意向等についての移行先への伝達。 サービス担当者会議の実施 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 支援を利用する子供が適切な支援を受けるよう関係機関等と連携することのみならず、地域全体の子育て支援力を高めるためのネットワークを普段から構築する。 支援を利用している子どもの家庭での困りごと、相談等を聞きとり助言をする。 速やかに家族との連携が取れるようにLINEを用いて連携体制を築きます。 家族が仕事や仕様の際に安心して預けることのできる場所の提供。 仕事等で送迎が難しい際には保護者に代わり送り迎えをします。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公園・図書館の利用 地域イベントへの積極的な参加 子どもたちが通う学校、療育施設などと連携を取り見学や情報交換などを通じ一事業所で完結することなく地域ぐるみで子どもの成長にわっていく。 保育園交流（無認可保育園） 農家さん交流 ニコニコキッズフェスタ 	職員の質と向上	<ul style="list-style-type: none"> 新人研修 法人内で研修を定期的に行っていいます（事故防止・虐待防止など）。 施設内研修や外部研修などを通じ、職員のかかわる力（行動力）かんがえる力（想像力）、つくる力（創造力）を培っていく。 専門的職員による施設内研修。
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> お誕生日会・クリスマスパーティー 同法人の他事業所との交流（デイサービス含む） 外出支援・ランチ、おやつ作り・買い物体験 プール等の季節の行事 親子遊び・運動会・お別れ遠足 	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 法人で定めた安全計画のもと、様々な災害を想定した避難訓練を実施します。

5領域

支援内容

健康・生活

学校での集団生活を円滑に送り、役立つスキルを身につけるための支援

- ・**睡眠**…学校での安定した生活を中心に、通所時には情緒面・運動面の良いバランスで支援する。
- ・**食事**…食への興味を促し、皆で食べることの楽しさを知り、生活に繋がるようおやつの時間やクッキング、食物を育てる活動での食育を通じて、自分で作って食べる喜びを知る。
- ・**排泄**…それぞれの児のトレーニングの段階に応じて支援する。トイレに行きたいという意思表示を支援する。
- ・**身辺自立**…衣類・靴の着脱や整理整頓の支援。自分の持ち物を意識管理できるための支援をする。
- ・**社会生活に向けた支援**…公共の場のルールを守って行うお買い物やお出かけプログラム。

運動・感覚

必要な運動能力を発揮するための支援

- ・**姿勢保持**…正しい姿勢を学び自身の姿勢を意識する声掛けをする。
- ・**粗大運動**…サーフィンや体操、ヨガ、感覚統合、散歩、公園の遊具使用を通して身体の使い方を知る。
- ・**微細運動**…造形活動、お絵描き、指先を使った活動を通して、正しい用具の使い方を支援する。
- ・**感覚**…粘土やスライム等の感触遊びを通して物質の変化と感覚の認知形成を行ったり、自分の得手・不得手な感覚を回避したり、相手に知らせたりして、苦手な感覚でも自分なりの対処方法を見つけることができるよう支援する。

認知・行動

主体的に行動できるための支援

- ・構造化された環境の中で過ごすことで、一人ひとり認知の特性をしっかりと観察し、主体的に集団活動に参加できるように支援する。
- ・他者の意見に耳を傾け、協力しながら集団活動に参加するための支援。
- ・お手伝いや活動を通じて、人の役に立つ喜びを感じ集団の中での自分の役割を意識する支援。
- ・知覚から行動への認知過程の発達環境から情報を取得、選択し行動につなげる認知過程の発達を支援する。

言語
コミュニケーション

円滑なコミュニケーションを図り、適切な要求や表現方法を習得するための支援

- ・その児に合わせた目線でわかりやすく伝える。
- ・言葉だけでなく、ジェスチャー等で伝える練習をする。
- ・不適切な行動を見極め、適切な表現でやり取りできるよう支援する。
- ・職員やお友達との会話でコミュニケーションの楽しさを感じることの支援をする。
- ・相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援する。

人間関係・社会性

自己理解を育み集団の一員として一つの活動を協力し、共有しながら楽しく参加するための支援。

- ・職員との信頼関係を築き、安心して過ごせるようサポートする。
- ・遊びを通じて他児に目を向け、関わりを深めるための支援。
- ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通じて社会生活に必要な適切な行動を身につける。
- ・児童発達支援との交流プログラムで年長児であることを自覚し、年下の子を接する機会を作る。
- ・ルールのある遊びで相手を意識する活動を取り入れる。
- ・自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援する。

5領域における具体的な内容はお子さま一人ひとり成長や発達において異なります。得意や不得意があつて当たり前です。

得意を伸ばし、不得意をカバーできるよう、5領域一つひとつの項目を一步ずつ成功体験をもとに伸ばしていきます。どの領域においてもご家族さまのご協力のもと、お子さまにとって最善の方法で支援していきます。



移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な移行を想定した専門職による評価。 ・具体的な移行先との調整。 ・家族への情報提供や移行先での環境調整。 ・移行先との支援方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達。 ・子供の情報、保護者の意向等についての移行先への伝達。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を利用する子供が適切な支援を受けるよう関係機関等と連携することのみならず、地域全体の子育て支援力を高めるためのネットワークを普段から構築する。 ・支援を利用している子どもの家庭での困りごと、相談等を聞きとり助言をする。 ・速やかに家族との連携が取れるようにLINE等を用いて連携体制を築きます。 ・家族が仕事や私用の際に安心して預けることのできる場所の提供。 ・仕事等で送迎が難しい際には保護者に代わり送り迎えをします。 ・サービス担当者会議 		
地域支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公園・図書館の利用 ・地域イベントへの積極的な参加 ・子どもたちが通う学校、療育施設などと連携を取り見学や情報交換などを通じ一事業所で完結することなく地域ぐるみで子どもの成長にわっていく。 ・ニコニコキッズフェスタ ・地域学童交流 	職員の質と向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修 ・法人内で研修を定期的に行っていいます（事故防止・虐待防止など）。 ・施設内研修や外部研修などを通じ、職員のかかわる力（行動力）かんがえる力（想像力）、つくる力（創造力）を培っていく。 ・専門的職員による施設内研修。
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日会・クリスマスパーティー ・同法人の他事業所との交流（デイサービス含む） ・外出支援・ランチ、おやつ作り・買い物体験 ・プール等の季節を感じる行事 ・親子遊び・運動会・お別れ遠足 	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・法人で定めた安全計画のもと、様々な災害を想定した避難訓練を実施します。